



2023年度

2023(R. 5). 11. 15.
明王台シャローム幼稚園地域の子育て応援！！ ～
未就園児と保護者の方を対象として～

ふちばるレター 11月号 (Vol. 7)

～ 心が育つ「絵本」の読み聞かせ ～

11月上旬とは違い、朝晩は冷え込みを感じるようになりました。幼稚園の子ども達も先週まで半袖だった子が長袖やトレーナーを着て過ごしている子が増えました。寒暖差があるととも風邪を引きやすい季節ですので、体調には気を付けてお過ごしください。

さて、季節の移り変わり、特に秋は紅葉や食物の恵みなどから“〇〇の秋”といわれるように、屋内外でのスポーツや創作活動をしやすい時期でもあります。そこで、今回は寒い日にあたたかな窓辺やおやすみ前のリラックスタイムに心がホッとなる、“読書の秋”にスポットをあてて、絵本についてご紹介いたします。

●大人になっても記憶に残る絵本の思い出

子ども達にとって、“絵本”の良いところはいったいなんでしょうか？

まず、一つ目は、言葉の数が増えることです。まだ話せない0歳の内から様々な絵や色を目にすることで、色彩や具体物の認識や、読み聞かせをしてくれる大人の声で表現や言葉を知っていきます。たくさんの言葉を知る事で、読解力やコミュニケーション能力が高まる事にも繋がります。

読み聞かせを始める目安としては、生後5か月頃からとも言われています。話せない赤ちゃんもお母さんやお父さんの声や表情を見て、安心したり、リラックスしたりすることで温もりを感じます。ですので、仕方なく読んだり、怒った口調で読んだりすると、子どもにその気持ちが伝わり逆効果になりますので、リラックスできるように読んであげてください。

二つ目は、想像力や集中力が高まることです。絵本の世界は、子ども達が体験した事がない場所や風景が多く描かれています。お話の中に出てくる登場人物や、次は何が起こるんだろうと、想像する事で展開の想像力やお話に引き込まれる集中力が身についてきます。子ども達のイメージが崩れないためにも、お話の途中で大人が子ども達に想いを聞いたり、絵本にはない言葉を入れたりしないように気を付けてくださいね。

三つ目は、“心の脳”^{※1}が育つことです。絵本一つで、語彙力や想像力、表現力、記憶力等が育つだけでなく、相手の気持ちに共感する事や自分の気持ちを伝える事等、心の面の発達も育つと言われています。お友達との人間関係を築く事や自分の気持ちや考えとどう向き合っていくかを自然と学べるものも多くあります。

そして、意外にも幼い頃に読んでもらった、または読んでいた絵本や物語を大人になってもあたたかい思い出として残る人は多くいます。それは、読んでもらった絵本やお話に心動かされ、心の中に強く残った記憶だからです。それはお話が印象的だったからだけではなく、お話を聞かせてくれた大人や周りの環境が心地よかったことも大きく関わります。子どもと一緒に大人も楽しめる絵本もたくさんありますので、いろんな絵本に触れてみて下さい。

※1 絵本の読み聞かせによって、脳の中核であり、人間らしさを表す認知・情緒・社会性等に働きかける能力に関わる“前頭連合野”が刺激されるという脳科学、発達心理学等の研究があります。(参考:『読み聞かせは心の脳に届く』著:泰羅雅登 2009年くもん出版)

●読み聞かせはスキンシップ

絵本の読み聞かせは、子どもとの距離はとても近く、スキンシップを取る事もできる大切な時間です。これは、親子でのコミュニケーションの時間とも言われています。スキンシップを伴った絵本の読み聞かせは、情緒の発達

にも効果を発揮します。情緒とは、簡単に言うと嬉しい、悲しい、怖い、楽しい等と言った気持ちや感情の事を言います。最初は読み聞かせする中で、親が子供となって、喜んだり、悲しんだり、怖かったりする事で、様々な感情を読み取るようになり、感情はどんどん豊かになります。情緒を豊かにすることは、今後のコミュニケーションを身につける上で必要不可欠なようとなりますので、読み聞かせは情緒を豊かにする最適な手段と言えます。

ポイントとしては、子ども達に絵本の世界を味わってほしいので、読み手の気持ちや考え等は伝えず、声だけで表現すると集中して聞いてくれます。

シャローム幼稚園でも、絵本の時間を大切にしており、一日1冊は読んでおります。読むタイミングは学年によって異なりますが、活動の前や帰りのお支度が終わった後等にしており、子ども達はタイトルを読むだけで、準備をしていた手が止まり、絵本に釘付けです。中には早く絵本が見たいと、急いで準備する子もいます。気に入ったフレーズがあると、教師と一緒に言ってみたり、読み聞かせ後にも呟いたり、お友達と「ここが面白かった！」と、お話す姿も見られます。

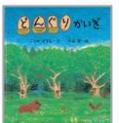
特に、クラスの先生やお友達と読んでいる“月間絵本”は子どもたちのお気に入りです。月末にご家庭に持ち帰った際には、保護者の方より「子どもが読み聞かせをしてくれるんですよ。」「今月のお話がとてもお気に入りのようです！」と、ご家庭でも親子で絵本時間を楽しんで下さっているようです。

●秋にちなんだ絵本など



『ぽつとんころころ どんぐり』 いわさ ゆうこ 童心社

この時期よく見かける「どんぐり」。ころころ落ちてくる様子や、どんぐりになるまでが描かれています。



『どんぐりかいぎ』 こうや すすむ・文 片山 健・絵 福音館書店

森のどうぶつたちとどんぐりたちが共存する為に“会議”を行います。実は本当にこんな話し合いがされているのかもしれませんが。

『14ひきのあきまつり』 いわむら かずお 童心社

秋の色鮮やかな世界の中、14匹のねずみの家族の生活が垣間見れます。



『森のおふろ』 西村敏雄さく 福音館書店

風が冷たくなる季節になると恋しくなるのが、あったかいお風呂。動物たちが輪になって背中を洗ってあげる様は一つの家族のようです。動物たちも私たちと一緒に風呂好きなのもかもしれません。

●その他のおすすめ絵本



『寿限無』 齋藤孝・文 工藤ノリコ・絵 ほるぷ出版

「寿限無寿限無 五劫のすりきれ・・・」。この長い長い言葉がまさか名前だったとは。読んでいるうちに言葉の響きで楽しくなってくる絵本です。



『どうぶつえんガイド』 あべ弘士さく・え 福音館書店

動物園の飼育員をされていた作者ならではの視点です。動物の特性に、「ほ～！」と頷いてしまいます。



『おなら』 長 新太さく 福音館書店

生きていれば体から出てくる“おなら”。子どもが好むそれを、動物や人、それぞれの面からおもしろおかしく解説してくれます。

次回ぶちっこぱるのご案内

- 12月23日(土)10:00～
「サンタさんとクリスマスをお祝いしよう！
～おじょうさんも混ぜてみんなでパーティー～」
- 2024年1月17日(水)15:00～
「お正月遊びを楽しもう！
～おむすびころりん すっとんとん～」



《 お問い合わせ 》

“愛” みんなにいつまでも
“LOVE” for You All, Forever

学校法人のぞみ学園

明王台シャローム幼稚園

〔幼稚園型認定こども園〕

(住所 : 福山市明王台1丁目2-7)

TEL : 084-951-6006

